



発行:編集  
おゆみ野地区  
円卓会議事務局  
発行責任者:  
山内文夫

えんたく

# おゆみ野 宝探し

地域の連携と協働で地域課題を解決しましょう!

## 円卓会議一年の総括と今後について

今年度の円卓会議は、地域課題解決・連携支援モデル事業として千葉市より支援をいただき『おゆみ野地区町内自治会連絡協議会』『おゆみ野の森を育てる会』『おゆみ野地区コミュニティづくり懇談会』が協働して、昨年引き続き『おゆみ野の緑』をテーマに『おゆみ野宝探し』として会議を行ってまいりました。

管理部会は ①管理活動をしている人々をつなぎ合わせる機能を作ろう!  
②地域のみどりの「緩やかな方針」を考えよう!  
③地域と緑との関係を調整する機能を作ろう!をテーマに議論を重ねてきました。

活用部会は ①緑の空間に多様な世代が交流する居場所を作ろう!  
②安全安心な緑の空間を作ろう!  
③おゆみ野の財産である緑の空間を広くアピールしよう!をテーマに、行事として

『おゆみ野Cafe』を毎月第四土曜日に実施しております。そして管理部会、活用部会協働でおゆみ野にある公園の特徴や魅力を載せた『公園情報マップ』を完成させることができました。これらの活動を通して議論を重ねてきた結果、おゆみ野の緑をテーマにした円卓会議は【緑の会議】として立ち上がる予定です。

併せて、地域の情報発信の重要性を鑑み、『地域の情報プラットフォームづくり』も始めました。円卓会議も今後は「住民同士の支え合い」で地域の課題を解決する形に変わっていくものと思います。(おゆみ野地区円卓会議座長:山内文夫)

## おゆみ野地区円卓会議は【緑の会議】へ発展します!

第10回(H25.10/12)・第11回(H26.1/11)の円卓会議が開かれ、「緑の会議」発足に向けての準備が着々と進んでいます。第11回では、規約(案)について、活発な意見交換が行われました。

## 【緑の会議】は何をめざしていくのか!?

(おゆみ野地区緑の会議 規約案・設置の目的より)  
1)おゆみ野地区の緑の空間を共有の財産として守り育て、まちづくりに寄与する  
2)地域の課題を地域で解いてゆくしくみをつくりあげる  
以上を目的に、地域、行政、大学ほかの関係団体や有識者等との連携・協働による検討の場を提供することをめざします。

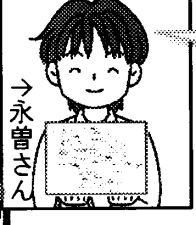
## 【緑の会議】への参加団体・参加者を募っています!

この春の正式発足に向けて、趣旨に賛同し【緑の会議】へ参加を希望する団体・個人を募集しています。あなたも参加しませんか!?  
おゆみ野の緑をとおして、多くのみなさんと繋がっていきたくて考えています。  
問い合わせはメールでお願いいたします:oyuminomidorinokaigi@yahoo.co.jp

地域課題解決

住民同士の支え合い

緑の会議



## マップが完成しました!

「おゆみ野の魅力を多くの方に知って欲しい」との思いを持って、おゆみ野地区円卓会議で作成していた「公園・緑地・遊歩道 魅力マップ2014」が完成いたしました。おゆみ野地区円卓会議に寄せられた地域の方のご意見・・・「おゆみ野にはいくつ公園があるの?」「どこの公園にどんな設備があるの?」「どこに駐車場やトイレがあるの?」「そんな情報がひとつになったもの欲しい!」という声が聞かれました。また、緑の円卓会議で話し合われた「地域の活動の連携支援」、「おゆみ野の財産である緑の空間をもっとアピールしよう」といった目標からも、緑の空間にかかる様々な情報をわかりやすく表したマップのようなものが求められていました。

## 様々な方との協働でつくりました!

内容の検討及びマップの作成には、多くの方のご協力をいただきました。昨年の7月の円卓会議より具体的な内容等の検討を始め、自転車による全公園の現地踏査、おゆみ野Cafeの現場での情報収集、子どもルームで子どもたちへのヒアリング、お母さん方とのワークショップなどを経て、盛り込む情報を検討しました。子どもたちへのヒアリングやワークショップ、それらをとりとまとめた制作デザインについては、千葉大学大学院工学研究科修士課程(工学部環境デザイン研究室)の永曾さんに大きな力を発揮していただきました。

千葉大工学部環境デザイン研究室の先生と学生さんには、おゆみ野Cafeの移動遊具の提供でも協力いただいています。今後も研究活動や実践のフィールドとして活用いただきながら、相互の協力関係を保って行きたいと考えています。

## マップのこれから!

名称は「魅力マップ2014」としました。今回のマップには載せられなかった情報もまだまだたくさんあります。「遊歩道の樹木は、区間ごとに様々ですね」「道路の街路樹も路線ごとに違うね」「景観ポイントはもっとたくさんあるよ」といろいろと加えたい情報もあります。また地域の活動の場としての情報は、これからどんどん増えて行くことが期待されます。そんな情報を追加、更新しながら、年々進化したものに作り替えることができればと考えています。

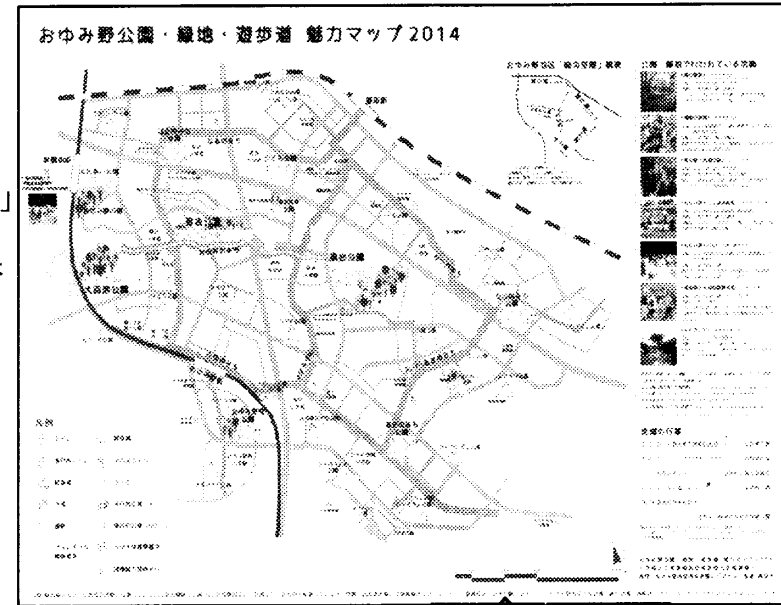
## みなさんのもとへお届けします!

今後、小中学校、自治会等を通じて、おゆみ野地区のみなさんのお手元に配布する予定です。また、緑区役所(1F地域振興課)ほか公共施設等にも配布用Mapを置いていただく予定です。ぜひ手に取ってご覧いただき、おゆみ野の緑の空間の魅力を再認識いただければと思います。

## おゆみ野地区 公園・緑地・遊歩道 魅力マップ2014



ワークショップの様子



魅力マップ2014

## シリーズ 其の三 おゆみ野こんじゃく(会書) 「おゆみ野の緑について」

おゆみ野には、現在大小39の公園と緑地、1万本を超える街路樹植栽が計画的に配置され、施設としての緑の量は千葉市内でも有数の規模を誇ります。また、市街地を開発する以前からの既存樹林や斜面地といった地形的な特色を活かし、それぞれ個性を持った公園が多いことも特徴で、マップに位置されるイメージよりもはるかに立体的で存在感のある緑によって、街の印象が形づくられています。特に泉谷公園から有吉公園を経て大百池公園へと続く「緑道」と「水のせせらぎ」で結ばれた「おゆみの道」などは、緑と水辺のネットワークを象徴する空間であり、「緑と水辺の都市・千葉市」の代表的な景観といえます。このように、表情豊かなおゆみ野の緑ですが、同年代に開設した施設も多く、年月の経過とともに老朽化する構造物や、より一層生長・繁茂していく樹木を、これからどのように管理していくかが課題となっています。市の公園全体の年間予算は、他の公共施設と同様に減少の傾向にありますが、維持管理費やメンテナンスにかかるコストの割合は、毎年成長していく樹木などと比例し、今後増加傾向に向かうものと予想されます。公共施設の管理が、量から質へ変換が問われている今、身近な緑というこの貴重な財産を、いかに価値を高めながら適正に継承していくか、地域の皆さんと一緒に考え、選択していく必要があります。緑の「活用」と「管理」という協働の輪が、これからも車の両輪のように持続的に回転していくことが、地域が目指す緑の将来像への推進力になっていくことを期待しています。

千葉市都市局公園緑地部 緑公園緑地事務所 植木 公章

# おゆみ野café 1周年!

始めて  
1年たちました

毎月第4土曜日開催の「おゆみ野カフェ」。開始から1年が経ちました。今まで、有吉公園、泉谷公園、あきの道公園、おゆみ野の森、はるの道公園などで開催してきましたが、様々な方々の参加、協力、支援により続けられてきました。

## 様々な方との連携で

おゆみ野地区の活動としては今まで余りなかった大学や大学生さんとの連携が進んでいます。おゆみ野地区のお隣りにある千葉明德学園短期大学の保育創造学科の学生さんや先生方には、ほぼ毎回参加していただいています。

昨年の12月には千葉明德短大の学生さんが主体となり、テレビでも大人気の「逃走中」を「はるのみち公園」で行いました。受付開始前から長蛇の列ができるくらいの大人気企画でした。200人ほどが集まり、子どもたちは学生とペアになり、スマホで指令を受け取り、放たれた「ハンター」から逃げ切ります。学生ハンターは黒スーツにサングラスでリアル。地域のおじさんや、遊びに来ていたアメリカ人留学生も飛び入り参加し、大盛り上がりでした。学生さん自身も楽しんでくれたようで、とても良かったです。おゆみ野地区のすぐお隣りにあり、保育の専門家を育てる大学ですので、これからもいろいろな面で連携できればと思います。

また、移動式遊具はもうおゆみ野カフェにはなくてはならない存在となっています。これは千葉大学工学部環境デザイン研究室の先生や学生さんに協力いただき、毎回お借りしています。

決まった遊びしかできなくなってきた子供たちが多いですが、この移動式遊具は好きなように組み立てることができるので、想像力をかきたてます。

おゆみ野地区の公園にある遊具は、だんだんと故障がちになり、部分的に取り除かれてしまっているものも見かけます。もし、これからの子どもたちに新しい遊具を作ってあげるとしたら、どんなものが望まれるのか? そんなことを地域と大学と行政でいっしょに考えて行きたい、試行の場になるとうれしく思っています。

8月や2月には『おゆみ野の森』で、焚き火やハンモックなど、森だからこそできる遊びをしました。炊き出しも、料理得意なママたち、おゆみ野の森のおじさんが、外でみんなと食べる楽しさを知ってほしいと食育も視野に入れながら頑張っています。

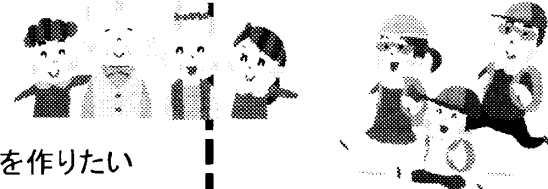


おゆみ野の森で水遊び!  
たのし〜い!

## 日常的な風景としての浸透 を目指して

少しずつですが、確実に地域に浸透してきていると思っています。でもまだ、何をやるのか解らないという方も多いかと思えます。

おとなも子どもも、  
ゆたかな自然の中で  
みんなが自由に  
のびのび過ごせる居場所を作りたい



これまで1年間は、多くの子どもたちや地域の方々に注目いただきたいという思いから、目玉になるイベントを据えた企画を行ってきました。でも、本当は普段の公園で、様々な年代の方がふらっと来て一緒に話したりお茶飲んだりして、その中に子どもたちが自由に遊ぶのを見守れる空間がある、そんな光景が望ましいのかな? とも考えています。

おゆみ野カフェは、お祭りやイベントを行う場ではなくみんなが安心してのびのびゆったり過ごせる居場所作りを目指しています。

子どもだけでなく大人のための居場所でもありたいと思っています。普段お仕事を頑張っているお父さん! 家でテレビを見ているおじいちゃんおばあちゃん! ぜひ、来てみてください。

4月からは、学園前駅すぐ近くのふれあい公園とおゆみ野の森での開催を中心に、また、年に数回はおゆみ野地区内の各公園を巡回しての開催も行う予定です。

毎月第4土曜日、午前11時からの開催を予定します。

今後も、子供たちを中心に、おゆみ野にある緑という宝を生かしつつ、安心できる居場所を作っていきます。ぜひご理解ご協力、お願いいたします。 <おゆみ野カフェ企画運営・実施協力:おゆみ野冒険パーク実行委員会>

ブログ: <http://ameblo.jp/oyumino-bouken-park/> お問い合わせ: [oyuminocafe@yahoo.co.jp](mailto:oyuminocafe@yahoo.co.jp)



「ハンター」  
おゆみ野caféにて



大好評の移動遊具



みつけ! おゆみ野の宝物

# おゆみ野の『緑』についての『まめ知識』



By Sasaki



スミレ



タチツボスミレ



ニオイタチツボスミレ

早春、足元に目を向けると小さな春が訪れています。早春を代表する花、スミレです。

花壇を彩るパンジー、ピオラは地中海原産のサンシキスミレを改良したものです。冬の間も多彩な色で目を楽しませてくれます。自然の残る公園には、野生のスミレも見られます。

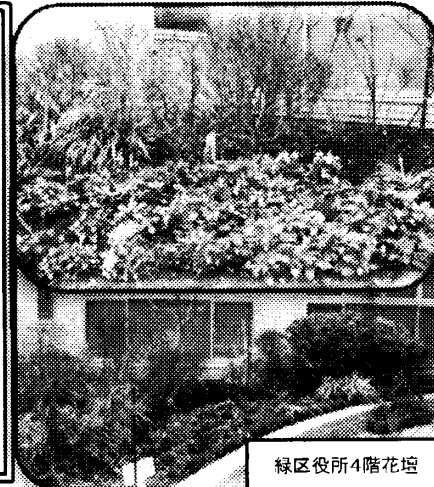
スミレ、タチツボスミレ、ニオイタチツボスミレなどです。野生のものは、同じ種類でもさまざまに顔貌が違いますから、お気に入りの花を探してみてくださいはいかがでしょうか?

## 緑区役所花壇の土壌づくり

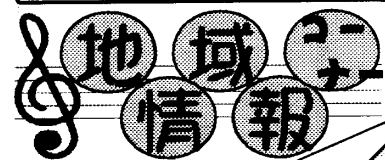
2月1日(土)に、緑区役所4階の食堂にある花壇の土の状態があまり良くないとのことから、土壌づくり作業を「おゆみ野地区円卓会議管理部会」のメンバーなど5人で行いました。

始めに、鍬などを使って花壇の土を掘り起こし、その後、栄養分のある土などを全体にまきました。最後に、土の中まで栄養が行き渡るよう混ぜ合わせ、1時間半ほどで作業は終了しました。

今回の作業により、土全体に栄養が行き渡り、今まで以上にきれいな花が咲くことと思います。区役所にお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。(緑区役所地域振興課:西森)



緑区役所4階花壇



## 『どうのうしろ公園』おゆみ野南6丁目

おゆみ野南中学校生徒会の皆さんが公園や遊歩道を快適な場所にしていくために「蚊」対策の一つとしてハーブの苗を植える計画を立て、2/23に土壌の整備をしました。この活動は校区の育成委員会や緑公園緑地事務所の植木さん、地区連協、円卓会議管理部会などが協働で行っています。これに関連して昨年はゴミ拾いウォーキング等も行われました。土壌が整い苗の定植時期が来るのを待っています。

蚊遣りのハーブ  
を植えますよ~

『魅力マップ2014』を参考に「どうのうしろ公園」にいらっしゃいませんか?



土壌整備を終えて  
集合写真

# 世代を超えて! これからのこみん

コミュニティづくり懇談会は三つの大きな役割を担ってきました。それは、

- ★多様な団体が地域課題について話し合う場を設けること。
- ★文化活動の担い手として活動すること。そして、
- ★情報発信です。

この3年間で、これらの活動がより良く行われるよう組織のあり方を検討してまいりました。その結果、今後はコミュニティづくり懇談会を基礎とした文化の担い手を育成し、地域課題の話し合いについては、区や地域の諸団体と協議をしてより多くの方々が関われるようにすることといたします。広報活動に関しては、『情報円卓会議』での話し合いを受けて、『情報プラットフォームの作成』を目指していきます。次年度の総会には、新しく生まれ変わる準備を進めています。どうぞご期待ください。そして、一緒に楽しいまちを創っていきましょう。